

平成 28 年 07 月 04 日

長野県知事 様

平成 28 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画書を提出します。

協定期間	平成27年度 から 平成30年度	
会社名	株式会社 六協	
住所	〒393-0056 長野県諏訪郡下諏訪町5259	
代表者名	代表取締役 河西 憲昭 印	
業種	製造業 ・ 建設業	
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所在地
	六協リサイクルセンター	長野県諏訪郡下諏訪町5259番地
担当部署	管理部	
担当者名	高橋 誠	
連絡先	TEL	0266-28-6000
	FAX	0266-28-7285
	電子メールアドレス	rokkyo@rokkyo.co.jp
ホームページアドレス	http://www.rokkyo.co.jp/	

1 産業廃棄物 3 R 実践方針

1. 産業廃棄物取扱の知識・意識の向上
従業員への教育（協力業者も含む）の実施
2. 現場発生材の分別と再利用の推進
現場での分別集積の徹底および再資源化処分施設への搬入量の増加

2 基礎数値の把握

(1) 総排出量の推移 (㊦・kg 又は m³※採用した単位に○)

平成27年度	平成26年度	平成25年度
5,921.95	4,994.24	11,963.54

(2) リサイクル量の推移 (㊦・kg 又は m³※採用した単位に○)

平成27年度	平成26年度	平成25年度
93.32 %	93.76 %	92.37 %

(3) 売上高の推移 (千円)

平成27年度	平成26年度	平成25年度
1,408,466 (千円)	1,931,505 (千円)	1,523,159 (千円)

(4) 廃棄物処理 (リサイクルするものは除く) に要する費用の推移 (円)

平成27年度	平成26年度	平成25年度
1,013,623 (円)	1,228,044 (円)	1,837,024 (円)

※排出抑制に基づく費用軽減の取組みの成果を経年でみます。

(5) リサイクルに要する費用の推移 (円)

平成27年度	平成26年度	平成25年度
1,807,502 (円)	1,506,390 (円)	1,107,214 (円)

3 取組み目標及び過年度実績

※目標値の指標の設定は、協定期間中同じ考え方の指標を継続して使用してください。

※協定期間の年度ごとに記載してください。新規の協定締結者は、初年度分のみ記載してください。

(1) 排出抑制のための目標値及び過年度実績値

① 総排出量に関する目標値及び過年度実績値

(総排出量と売上高との相関により、減量化の成果(傾向)をみます。)

ア 総排出量 (㊦・kg 又は m³ ※採用した単位に○) / 売上高 (千円)

平成28年度 (当年度目標値)	平成27年度 (過年度目標値)	平成26年度 (過年度目標値)
0.0035	0.0039	0.0056

イ アの目標値に対する過年度実績値を記載してください。

平成27年度	対前年比	平成26年度	対前年比	平成25年度
0.0042	168.0%	0.0025	32.0%	0.0078

ウ ア以外の指標による目標設定※

平成 年度 (当年度目標値)	平成 年度 (過年度目標値)	平成 年度 (過年度目標値)

※排出抑制目標値については、総排出量/売上高を基本としていますが、これにより
 難しい場合や自社で決めている場合は、独自に定める指標により作成してください。
 その場合、指標の算出方法や考え方について下記に記載してください。また、業務
 内容別に目標設定を行うことも可能なので、自社の状況に応じて設定してください。
 その場合、適宜記載欄を追加したり、別添様式(任意)で記載するなどしてください。

独自に指標を定める場合の算出方法・考え方

--

エ ウの目標値に対する過年度実績値を記載してください。

平成 年度	対前年比	平成 年度	対前年比	平成 年度

②廃棄物処理（リサイクルするものは除く）に要する費用に関する目標値及び過年度実績値

（売上高に占める廃棄物処理（リサイクルするものは除く）に要する費用の割合を見ます。）

ア 廃棄物処理（リサイクルするものは除く）に要する費用（円）／売上高（円）×100（％）

平成28年度（当年度目標値）	平成27年度（過年度目標値）	平成26年度（過年度目標値）
0.090 %	0.090 %	—

イ アの目標値に対する過年度実績値を記載してください。

平成27年度	対前年比	平成26年度	対前年比	平成25年度
0.071 %	112.6%	0.063 %	52.5%	0.120 %

③リサイクルに要する費用に関する目標値及び過年度実績値

（売上高に占めるリサイクルに要する費用の割合を見ます。）

ア リサイクルに要する費用（円）／売上高（円）×100（％）

平成28年度（当年度目標値）	平成27年度（過年度目標値）	平成26年度（過年度目標値）
0.140 %	0.100 %	

イ アの目標値に対する過年度実績値を記載してください。

平成26年度	対前年比	平成26年度	対前年比	平成25年度
0.128 %	166.2%	0.077 %	106.9%	0.072 %

(2) リサイクル率目標値 (%)

※リサイクル率は現地確認等で最終的なリサイクルを確認できる数字で記載してください。

廃棄物の種類	当年度目標値	過年度実績値		
	平成28年度 目標値	平成27年度 実績値	平成26年度 実績値	平成25年度 実績値
コンクリート	99.9	99.8	99.8	99.3
アスファルト	100.0	100.0	100.0	100.0
金属くず	100.0	100.0	100.0	100.0
木くず	80.0	78.3	74.9	41.1
廃プラスチック類	60.0	51.9	60.5	55.6
全体	97.8	93.3	93.7	92.3

(3) リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量 (%)

製品（材料）種別	当年度目標値	過年度実績値		
	平成28年度 目標値	平成27年度 実績値	平成26年度 実績値	平成25年度 実績値
再生砕石	100.0	100.0	100.0	100.0
全体	100.0	100.0	100.0	100.0

3 産業廃棄物処理責任者等

職	氏名	職務内容
代表取締役	河西 憲昭	産業廃棄物について統括管理責任者
取締役副社長	河西 徹	工事部および産廃事業部 廃棄物管理責任者
管理部課長	高橋 誠	産業廃棄物管理 事務局

*必要に応じ管理体制組織図等を添付してください。

4 産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開

<p>当社ホームページに産業廃棄物処理を設け、目標値、実績、再資源化等の情報を掲載する また、各現場毎の掲示版も設置する事で付近住民への情報公開</p>
--

5 産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合のみ）

施設の名称	公開計画の有無	公開計画の概要又は公開計画無しの理由
六協リサイクルセンター	有・無	近隣住民への施設見学会を実施
	有・無	

6 処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画

区分	廃棄物の種類	現地確認計画
中間処理場	コンクリート塊	廃棄物処理責任者、事務局ならびに工事現場責任者にて 処理施設内、処理方法・再生処理状況の確認を行う
	アスファルト塊	
	木くず	
最終処分場	廃プラスチック	廃棄物処理責任者、事務局ならびに工事現場責任者にて 処理施設内、処理方法・再生処理状況の確認を行う
	燃えがら	
		廃棄物処理責任者、事務局、自社処分施設所長にて 処理施設内、処理方法・再生処理状況の確認を行う

7 従業員教育（研修）計画

項目	教育（研修）計画内容
社員講習会	事務局にて年4回の講習を開催 また外部より専門講師による講習会も実施
現場教育実施	現場職長より協力業者の従事者全員に産廃取扱方法の周知 上記、社内講習および外部専門講師の講習会にも参加

8 リサイクル促進に向けた取組み（計画段階、実施段階での工夫など）

1. 各現場での分別集積方法の徹底 2. 再生品利用の促進 3. 資材搬入時の梱包・包装の簡素化依頼
--

9 処理を委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底

事実を把握した場合は、関係各行政機関や不法投棄場所の地主に報告 直ちに原因究明ならびに是正措置を実施する。その後は処置命令に従うものとする
--

10 他の不適正処理を発見した場合の協力体制

上記同様、関係各行政機関や不法投棄場所の地主に連絡

1 1 自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合のみ）

自社処理に関しては、産業廃棄物の品目、排出数量、処分日など履歴を確認できる
よう確実に帳簿等の管理を実施。（必要に応じては自社物でもマニフェスト発行）

1 2 その他協定の目的達成のため、独自に取り組む事項

※環境認証制度等の取得*、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理
振興センター）の導入等を含む。

ホームページの活用。処理状況の情報を提供することで、住民意見なども聴取。
長野県ホームページも活用。再資源化処理業者ならびに優良産廃処理業者等を利用。
また同様に、建築資材などの再生品情報を参考に使用推奨に取り組む。

*環境ISO 14001、エコアクション21等